

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール

## 報告書

2014 Yuanpei University Summer School for Chinese Learning and Healthcare  
Industry Site Visit. Special program for Kyoto College of Medical Science

医療科学部 放射線技術学科 3回生 兼先 勇佑

夏季休暇中に参加した、台湾サマースクールの報告を行う。  
食べ物・観光・医療の3点について記述していく。

### I. 食べ物



台湾の食べ物は、メインからデザートまで様々な種類が存在し、全体的に味が薄くて高カロリーであると感じた。

私の一番のお気に入り、写真のカキ氷である。これは、暖かくて、餅と小豆が入っている。日本でいう、冷やしぜんざいともいえる。さらに、ドラゴンフルーツも不思議な感覚の果物であった。

また、出国前不安視していた屋台についても、味・腹痛ともに問題はなかった。やはり、本場の小籠包は格別であったし、現地でしか食べれないものも頂いた。しかし、臭豆腐だけは私の体には受け付けなかった。

### II. 観光

台湾の観光地は、様々あるがやはり九份が有名ではないだろうか。宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」のモデルとなった場所である。とても懐かしい町並みであり、田舎大好きな私には、趣のある風情であった。

九份は、市場が軒を連ねており食べ物・お土産など販売してあった。有名な観光地であるがゆえに、周りは日本語ペラペラの日本人しかいなかったのは、土産話のひとつとなった。

今回の研修では、猫村、黄金博物館さらに国立博物館を巡った。どの観光地も魅力ある場所で、私を楽しませてくれた。





### Ⅲ. 医療

将来、私たちに身近になるであろう医療のことについて述べる。今回は、新竹国泰総合病院と台安医院を訪問させていただいた。

前者の施設は、街中にあり、日本といたって変わらない施設であった。院内は、必要最低限の設備はそろっていた。しかし、治療および検査が困難な場合には、レベルが上の病院を紹介する中規模病院といったところであった。

後者の施設は、日常の食生活を改善することで、病気を改善・抑える方針の病院であった。院内は、スポーツジム・スタジオ・ベーカリー様々な施設が充実していた。院内食を頂いたが、低カロリーでお腹が満たされたので、食生活の改善に共感を抱いた。

2つの施設を訪問して、医療のレベルは日本と変わらないと感じた。数年後、数十年後、日本は、諸外国に必ず抜かされると感じたことも、収穫である。

### Ⅳ. まとめ

今回のサマースクールでは、将来必ず生きるであろうことを学ぶことができた。言葉の通じない人との付き合い方、危機に陥ったときのチーム力など、挙げればキリがないが、大変貴重な経験をしたと感じている。将来は、国内に留まるだけでなく世界に羽ばたきたい。いや、羽ばたくんだという気持ちで残りの学生生活を過ごしていきたい。